

教育ビジョン研究センター  
定例セミナー特別講演会 No.3



元 フランクフルト大学 教授

Prof. Dr. Andreas Gruschka

司会・進行  
吉田成章  
通訳  
仁科陽江

ドイツをとおして考える  
授業研究と教師教育

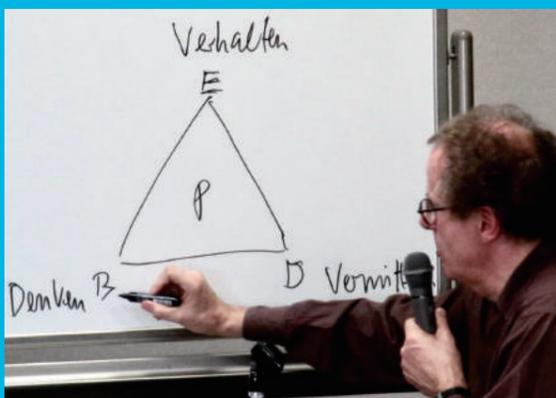
2017.

11.29 (Wed)

18:30 - 20:00

広島大学 大学院  
教育学研究科

B101 EVRI 室



グルーシュカ教授は、1980年代に取り組んだアドルノ批判理論に基づく教育学をベースに、200以上の授業記録を保存するアーカイブ創設など大規模な授業研究プロジェクトを推進してきました。その成果が2017年11月に名古屋大学で開催されるWALS(世界授業研究学会)での基調講演です。著作は、教育学の理論的な研究から実践的な研究まで多くありますが、なかでも『授業の境界』(2010)は、詩を取り扱ったドイツ語授業の全容を詳細な発話記録に基づいて分析したテキストです。『理解することを教授する』(2011)には、PISA後の教育改革に対する批判的な応答の考え方が集約されています。またドイツの教職テキストとして『教授する』(2013)も執筆しています。

主催 / 広島大学 教育ビジョン研究センター (EVRI)

【参加申し込み・問い合わせ先】 EVRI 事務室 (evri-info@hiroshima-u.ac.jp 内線 5265 または 6800)  
当日参加も可能です。資料準備の都合上、事前にお知らせいただくと幸いです。



EVRI